



高等教育機関への マイクロ・クレデンシャル導入の影響 アイルランドでの現状をつうじて



Lyndsey El Amoud
アイルランド・コーク大学

**A TRADITION OF
INDEPENDENT
THINKING**



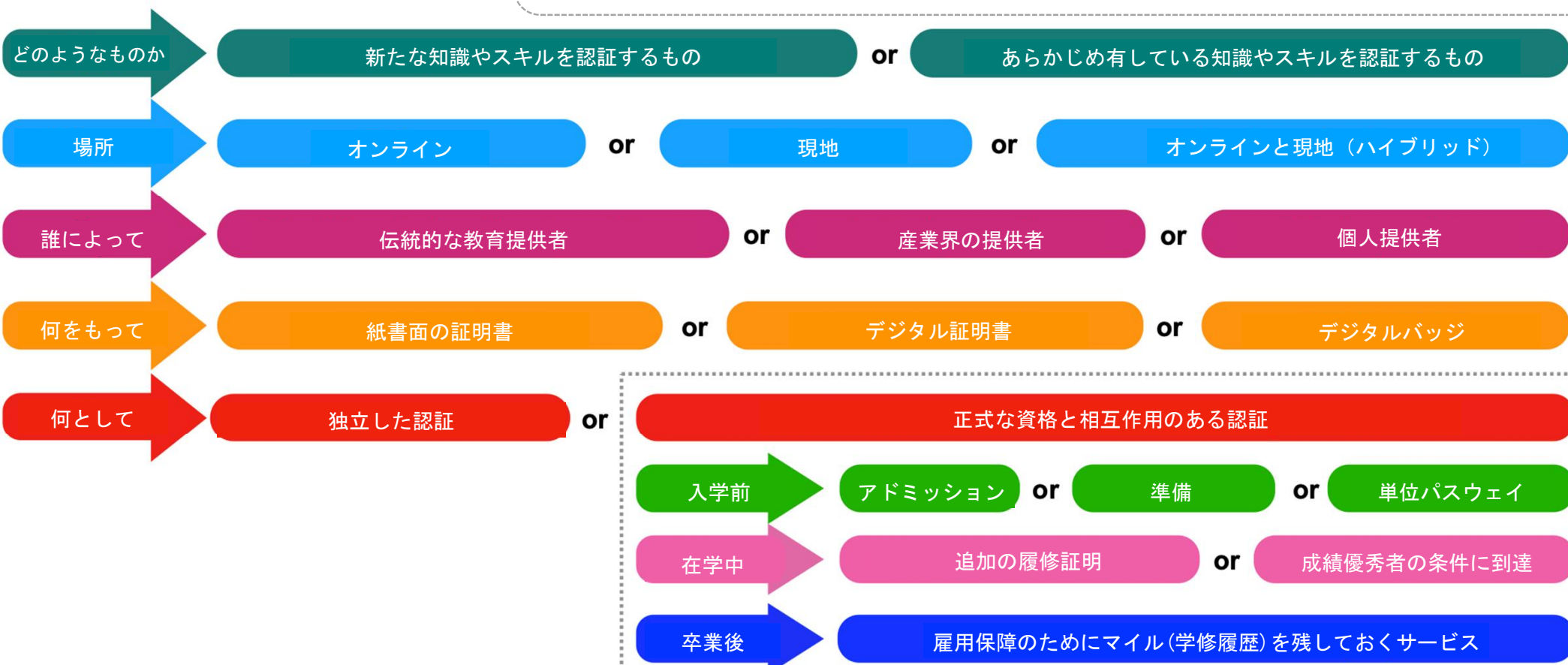
1.

マイクロレデ ンシャル：概観



Micro-credentials

次のようなものとしても知られています：オルタナティブ・クレデンシャル、MOOCs、履修証明書、短期コース、ブートキャンプ、インテンシブ、MicroMasters、masterclasses、ナノディグリー、Specializationなど



ヨーロッパにおけるマイクロクレデンシャル

だれもが、質が高く包摂的な教育、職業訓練、生涯学習を受ける権利を有する。それは、彼らが社会に十分に参加することを可能にし、労働市場において首尾よく移行できるようにするためのスキルを維持し獲得するためである。

（欧州における社会権の柱、2017）

マイクロクレデンシャルとは、学習者が短い量の学習のあとに獲得する学習結果の記録を意味します。これらの学習結果は、透明で明確に定義された基準に照らして評価がなされます。マイクロクレデンシャルに通じるコースは、学習者に対して、社会的な、個人的な、文化的なもしくは労働市場における需要に応えるような専門的な知識、スキル、コンピテンシーを提供するようにデザインされている。マイクロクレデンシャルは学習者によって所有され、共有可能であり持ち運び可能である。また独立して用いることも、より大きなクレデンシャルに結合させることも可能である。マイクロクレデンシャルは関連セクターもしくは関連活動領域において賛同された基準にしたがった質保証によって支えられています。

（欧州委員会、2021）

なぜマイクロクレデンシャルは必要か



マイクロレデンシシャルの恩恵

学習者

- 知識・スキルの強化
- 雇用可能性の強化
- 完成までの時間の削減
- 完全な学位より安価
- 学習者の自律性が高まる
- 「試してみる」機会
- 生涯学習の文化を育てる

雇用主

- スキルアップ需要を満たす
- デリバリーの柔軟性を増やす
- 投資のより速い回収
- 生涯学習の文化を育てる

大学

- 入学者数増加
- 収入創出
- 卒業生の従事
- アクセスの強化
- 外部のステークホルダーとのコラボレーションの増加
- 生涯学習の文化を育てる

出典： Ralston (2020;2021); Woods & Woods (2021)

マイクロクレデンシアルへの批判

*MCs(Micro-Credentials) : マイクロクレデンシアル

MCs は新自由主義の副産物である & 高等教育のより高度な目的への裏切りを代表する (Ralston, 2021)

MCs は伝統的な学位の減少に貢献してしまう

MCs は生涯学習者のニーズを満たさない、もしくは学習者の潜在的能力を開発できない (Ralston, 2021)

MCsは階級による分断を悪化させる

MCsは知識の区分やと知識の枠組み（進度、連続性、進化）との関係を弱める (Wheelahan & Moodie, 2021)

MCs では全人教育はできない

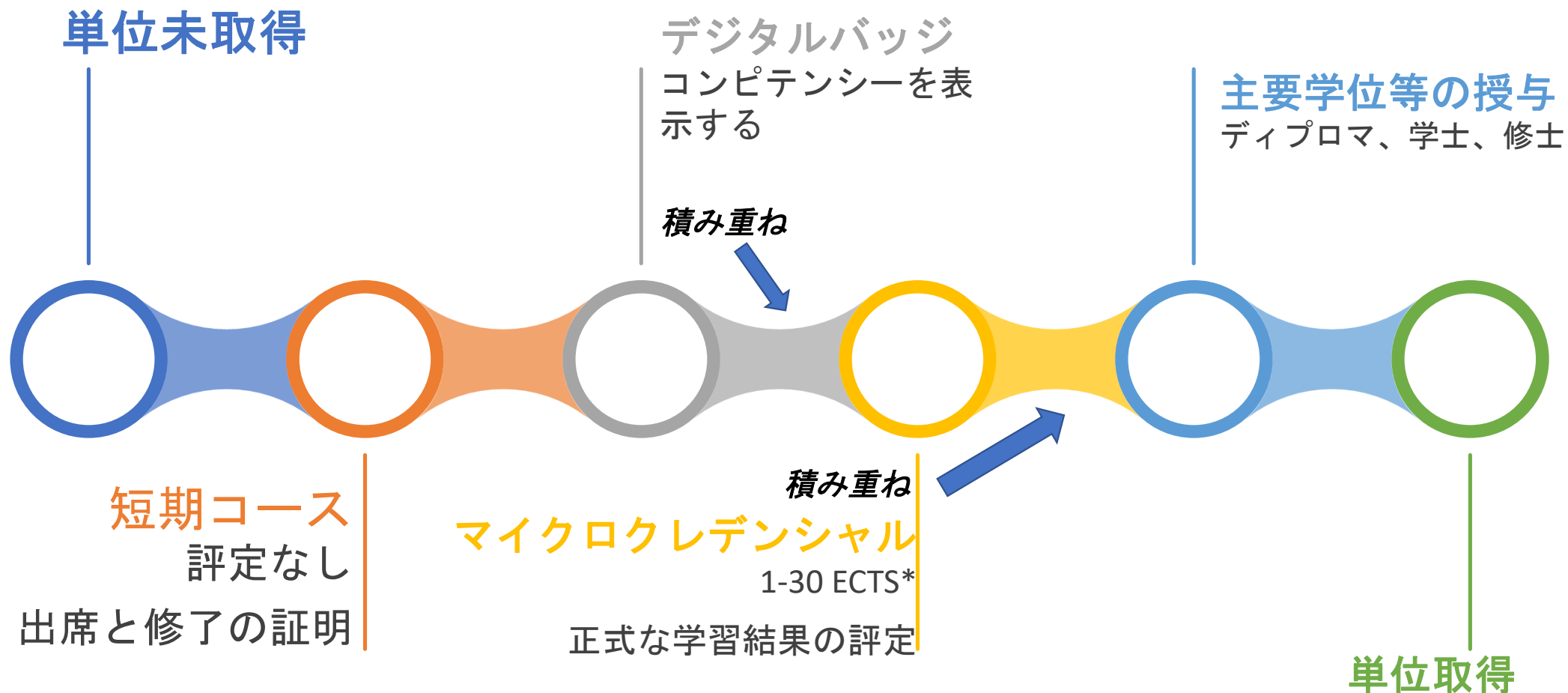


出典: Ralston (2021); Wheelahan & Moodie (2021)

2. アイルランドでの マイクロレ デンシャルへの アプローチ



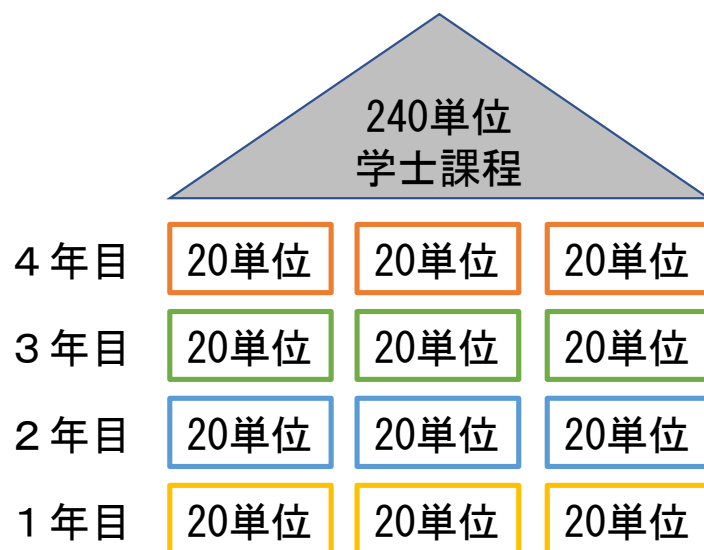
アイルランドにおけるマイクロレデンシャルの生態系



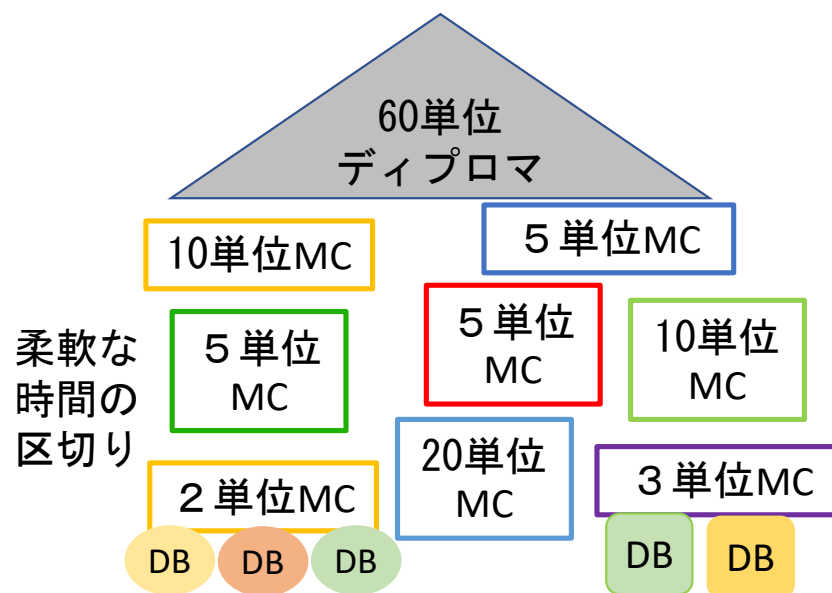
*ECTS : 欧州共通の単位基準

学習者の学習経路

従来の学習者



柔軟な学習者



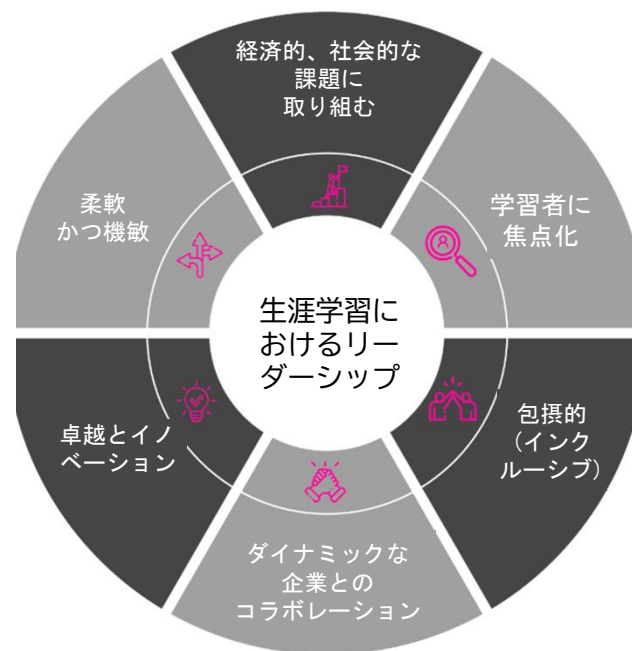
*単位はすべて 1単位=1ECTSのこと

** MC:マイクロクレデンシャル

***DB:デジタルバッジ

MICROCREDSプロジェクトとは何か？

- ・ アイルランドは欧州ではじめて、マイクロクレデンシャルの質保証と認証のための首尾一貫した国家枠組みを設けた。
- ・ IUA(アイルランド大学協会)提携校はマイクロクレデンシャルのために必要とされる構成要素の開発、試験実施、評価のために協働している。
- ・ 国家資格枠組みに沿ったマイクロクレデンシャルを柔軟に提供する迅速に対応できるパッケージを開発している。
- ・ この野心的なプロジェクトは、企業と連携してアイルランドの生涯学習を転換しようとするIUA提携大学の取り組みを促進する。



MICRO
CREDS

核となる価値

*IUA: Irish Universities Association

マイクロクレデンシャルの概観： アイルランドの状況

学習者が短い期間の
学習経験のあとに獲得する
学習成果の証明

国家資格枠組みにおける
レベル6～10に該当する
1～30単位内のECTSの
獲得

マイクロクレデンシャルは
普通の称号とは異なる

誰にとっても
手頃な分量で
学べるという期待

3. マイクロレディン
シヤルの実例：コー
ク大学成人継続教育
センター(ACE)



ACEマイクロレデンシナル 実証事業 2020-2022



生徒数： 600人以上

15個の短期型マイクロレデンシナル
を完了した人

13カ国からの
生徒



アイルランド
のNFQで
レベル7~9

10-20 ECTS

対面、オン
ライン、ハ
イブリッド
で開催

8-16 週間

velopi

NOVARTIS

Regional Skills
SOUTH WEST
Partnerships for Skills

Bio
Pharma
Chem
Skillnet,

VIATRIS™

AONTAS
The Voice of
Adult Learning

ASIA-EUROPE
FOUNDATION

Pfizer

SOAR
Inter Institutional Collaboration on Access

AILG
Association of Irish Local Government
Aontas Rialtas Aitiúil na hÉireann

TABOR
GROUP

ACEアプローチの鍵概念

ホリスティックな生涯学習
アジェンダへの関与

知の民主化

学習者中心的



マイクロレデンシャルのデザインに対するACEのアプローチ



マイクロレデンシャルー 職場のレジリエンスの構築

SWRSF(アイルランド南西地域スキルフォーラム) 業界会議で雇用主のグループ内における重要なスキルのニーズを同定。当方で支援可能か尋ねた。

応答の早さ

質

学習者に対する認証

外部試験団体との共催による
資格試験

質

対面ワークショップ1回を含む
オンライン配信。継続的評価。

柔軟性

応募の解放- 従前学習認定希望者
への評価。

包摂性

どのような価値を見出しているか。

学習ニーズを把握するために雇用主
とACE ラウンドテーブルを開催する

応答性

アカデミックパートナーを巻き込む
パートナーシップ

妥当性

カリキュラム案の作成

雇用主集団にプレゼンし、実施形
態について話し合う

柔軟性

カリキュラムの承認過程-
外部評価者、雇用主代表

質



Thank You!

Contact me at l.elamoud@ucc.ie